

# PAIN REHABILITATION

「ペインリハビリテーション」

第26回 日本ペインリハビリテーション学会学術大会  
プログラム・抄録集

# Vol.12

## No.2 2022

---

---

# 第26回 日本ペインリハビリテーション学会 学術大会

---

---

プログラム・抄録集

テーマ **疼痛医療の未来を拓く**  
～Interprofessional workのさらなる展開～

会期 2022年 6月11日(土)・12日(日)

会場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス  
(ハイブリッド開催予定)  
〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島1丁目1番3号

大会長 松原 貴子  
神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

## 巻 頭 言



第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

大会長 松原 貴子 神戸学院大学  
総合リハビリテーション学部 教授

このたび、2022年6月11日(土)、12日(日)の2日間、神戸学院大学ポートアイランドキャンパスおよびオンラインでのハイブリッド形式にて、第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会を開催する運びとなりました。

日本ペインリハビリテーション学会は、痛みとそれにとまなう身体的・精神心理的・社会的障害の病態解明およびその治療に関する基礎・臨床研究を行い、また痛みに関するリハビリテーションの臨床実践に携わる、多職種・多領域の医療専門職者・研究者で構成されるアカデミックな学会です。本学会は、2001年に「痛みを基礎から臨床まで考える会」という研究会として発足し、2012年より現在の「日本ペインリハビリテーション学会」に名称変更、さらに2019年に法人化し、疼痛医療の臨床・研究・教育に貢献するべく着実に活動を重ねてきました。10年の節目を越えた今、本学会にとって、Next few decadesを見据え未来を切り拓くべく新たな展開が緊要と考えます。

今回の第26回学術大会では、大会テーマを「疼痛医療の未来を拓く～Interprofessional workのさらなる展開～」とし、多職種が連携・協働することで見えてくる疼痛医療の課題と今後の展望について、リハビリテーションセラピストだけでなく疼痛医療に携わるすべての医療専門職・研究者が集い積極的に議論したいと考えています。大会プログラムは、基調講演、特別講演、教育講演、シンポジウムならびに演題発表などを準備し、参加者により多くの情報が提供され議論できる機会を設けたいと思っています。また、本学会では多数のオンデマンド配信プログラムを準備し、時間や場所を選ばずに、疼痛医療ならびにペインリハビリテーションの知見に触れる機会を提供します。

なお、開催形式については、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、オンサイトとオンライン開催のハイブリッド形式を予定しておりますが、オンライン開催のみに変更になる可能性がありますことをご承知おきください。

最後となりますが、本学術大会の運営にご尽力いただきました運営委員ならびに理事・代議員の先生方、また、本学術大会の趣意にご賛同いただき多大なるご支援を賜りました後援企業の方々に深謝いたします。

## 運営委員（敬称略，順不同）

松原 貴子（神戸学院大学）  
沖田 実（長崎大学大学院）  
森岡 周（畿央大学大学院）  
坂本 淳哉（長崎大学大学院）  
西上 智彦（県立広島大学）  
坂野 裕洋（日本福祉大学）  
城 由起子（名古屋学院大学）  
井上 雅之（愛知医科大学）  
下 和弘（神戸学院大学）

## 査読委員（敬称略，順不同）

|                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 松原 貴子（神戸学院大学）          | 沖田 実（長崎大学大学院）        |
| 森岡 周（畿央大学大学院）          | 坂本 淳哉（長崎大学大学院）       |
| 城 由起子（名古屋学院大学）         | 西上 智彦（県立広島大学）        |
| 坂野 裕洋（日本福祉大学）          | 平川 善之（福岡リハビリテーション病院） |
| 肥田 朋子（名古屋学院大学）         | 大住 倫弘（畿央大学大学院）       |
| 今井 亮太（大阪河崎リハビリテーション大学） | 片岡 英樹（長崎記念病院）        |
| 下 和弘（神戸学院大学）           | 平瀬 達也（神奈川県立保健福祉大学）   |
| 井上 雅之（愛知医科大学）          | 近藤 康隆（長崎原爆病院）        |
| 片山 脩（国立長寿医療研究センター）     | 壬生 彰（甲南女子大学）         |
| 金原 一宏（聖隷クリストファー大学）     | 大賀 智史（神戸学院大学）        |
| 田中 創（福岡整形外科病院）         | 大鶴 直史（新潟医療福祉大学）      |
| 江草 典政（島根大学医学部附属病院）     | 筒居 直美（帝京平成大学）        |
| 平賀 勇貴（国際医療福祉大学）        | 土井 篤（熊本保健科学大学大学院）    |
| 佐藤 剛介（奈良県総合医療センター）     | 重藤 隼人（京都橘大学）         |
| 田中 克宜（佛教大学）            | 大友 篤（仙台ペインクリニック）     |

## 目 次

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| 交通のご案内                                         | 1  |
| キャンパスマップ                                       | 2  |
| 会場マップ                                          | 3  |
| 参加者へのご案内                                       | 4  |
| 発表者へのご案内                                       | 7  |
| 大会スケジュール                                       | 9  |
| 学会奨励賞一覧                                        | 11 |
| プログラム                                          | 12 |
| 基調講演                                           |    |
| 田口 敏彦：ミクロ・マクロの両視点からみた痛みの史的考察                   | 32 |
| 特別講演1                                          |    |
| 半場 道子：慢性炎症とペインリハビリテーション                        | 36 |
| 特別講演2                                          |    |
| 堀越 勝：“疼痛患者のこころの声を聴く”ために医療者が知っておきたいこと           | 38 |
| 共催シンポジウム1 疼痛治療 up to date                      |    |
| 名越 慈人：脊髄損傷に対する再生医療の現状と未来                       | 42 |
| 吉村 文貴：運動器慢性疼痛に対する運動療法とパルス高周波法の融合               | 44 |
| 細見 晃一：中枢性脳卒中後疼痛の病態生理と最新治療                      | 46 |
| 大住 倫弘：運動療法最前線                                  | 48 |
| シンポジウム2 疼痛調節機能とその評価                            |    |
| 小幡 英章：疼痛調節機能のメカニズム                             | 52 |
| 小田 翔太：定量的感覚検査を用いた疼痛調節機能の評価                     | 54 |
| 服部 貴文：慢性疼痛における疼痛調節機能の変調とリハビリテーション戦略            | 56 |
| シンポジウム3 ロコモ・サルコペニア・フレイル疼痛への挑戦                  |    |
| 帖佐 悦男：ロコモティブシンドロームにおける運動器疼痛に対する<br>リハビリテーション医療 | 60 |
| 山田 実：サルコペニアとフレイルサイクル                           | 62 |
| 平瀬 達哉：高齢者における疼痛の特性とその介入戦略の実践                   | 64 |
| シンポジウム4 運動療法の有効性とそのメカニズム                       |    |
| 仙波恵美子：運動療法が奏功する脳メカニズム                          | 68 |
| 島田 明子：有痛性顎関節症への運動療法                            | 70 |
| 小川 寛恭：変形性膝関節症に対する運動刺激                          | 72 |
| 下 和弘：運動の効果メカニズムの探索                             | 74 |
| 教育講演                                           |    |
| 坂本 淳哉：慢性疼痛診療ガイドライン ―リハビリテーション―                 | 78 |
| 本谷 亮：行動科学的アプローチ CBT, マインドフルネス, ACT             | 80 |
| 加藤 総夫：痛みの用語と定義 ―痛覚変調性疼痛 nociplastic pain について― | 82 |

## ランチョンセミナー1

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 飯田 宏樹：ニコチンが作り出す慢性疼痛 ―疼痛患者の禁煙ステートメント― | 86 |
|--------------------------------------|----|

## ランチョンセミナー2

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 田中 浩一：がんの運動器診療 ―がん口コモのマネジメント― | 90 |
|-------------------------------|----|

## サテライトプログラム(ミニレクチャー)

|                                               |     |
|-----------------------------------------------|-----|
| 土井 篤：痛みのやさしい脳科学入門 ―痛みの発生から抑制まで―               | 94  |
| 坂本 淳哉：知っておきたいペインリハの基礎知識 ―e-learning を活用した学習で― | 95  |
| 田中 克宜：痛みの患者立脚型評価                              | 96  |
| 服部 貴文：リハ診療のできる痛みの神経機能評価                       | 97  |
| 佐藤 剛介：脊椎・脊髄疾患に由来する痛み                          | 98  |
| 大賀 智史：がんの痛み                                   | 99  |
| 吉本 隆彦：勤労者の慢性腰痛 ―プレゼンティーズムを考える―                | 100 |
| 城 由起子：肩こりの病態と予防 ―一次予防から三次予防まで                 | 101 |
| 田中 創：関節痛の病態と評価・治療 ～変形性膝関節症～                   | 102 |
| 井上 雅之：術後遷延痛の病態と予防・治療 ―開胸・開腹術、脊椎・関節術―          | 103 |
| 江草 典政：CRPS の病態と評価・治療                          | 104 |
| 下 和弘：運動による鎮痛 ―Exercise-induced hypoalgesia―   | 105 |
| 大住 倫弘：痛みのニューロリハビリテーション ―適応と禁忌―                | 106 |
| 佐々木 遼：痛みの物理療法 ―急性痛へのアプローチ―                    | 107 |
| 重藤 隼人：痛みの徒手療法                                 | 108 |
| 平賀 勇貴：痛みの作業療法                                 | 109 |
| 佐藤 今子：痛みの看護ケア ～全人的に慢性痛病者を支援するために～             | 110 |

|           |     |
|-----------|-----|
| 一般演題セッション | 112 |
|-----------|-----|

|        |     |
|--------|-----|
| 協賛企業一覧 | 164 |
|--------|-----|

|     |     |
|-----|-----|
| 定 款 | 165 |
|-----|-----|

|          |     |
|----------|-----|
| 役員・委員会名簿 | 172 |
|----------|-----|

|      |     |
|------|-----|
| 投稿規程 | 175 |
|------|-----|

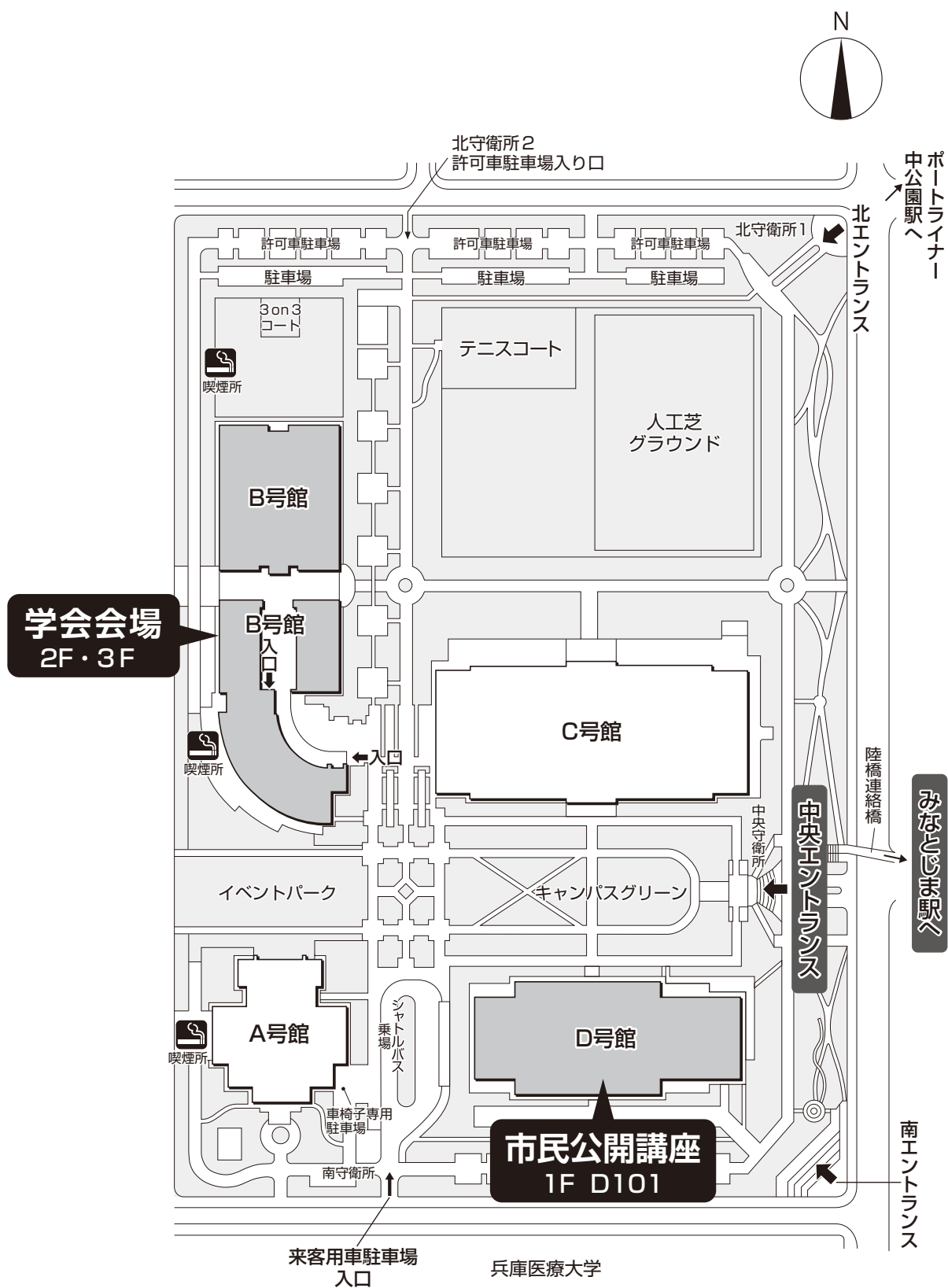
|      |     |
|------|-----|
| 編集後記 | 177 |
|------|-----|

## 交通のご案内



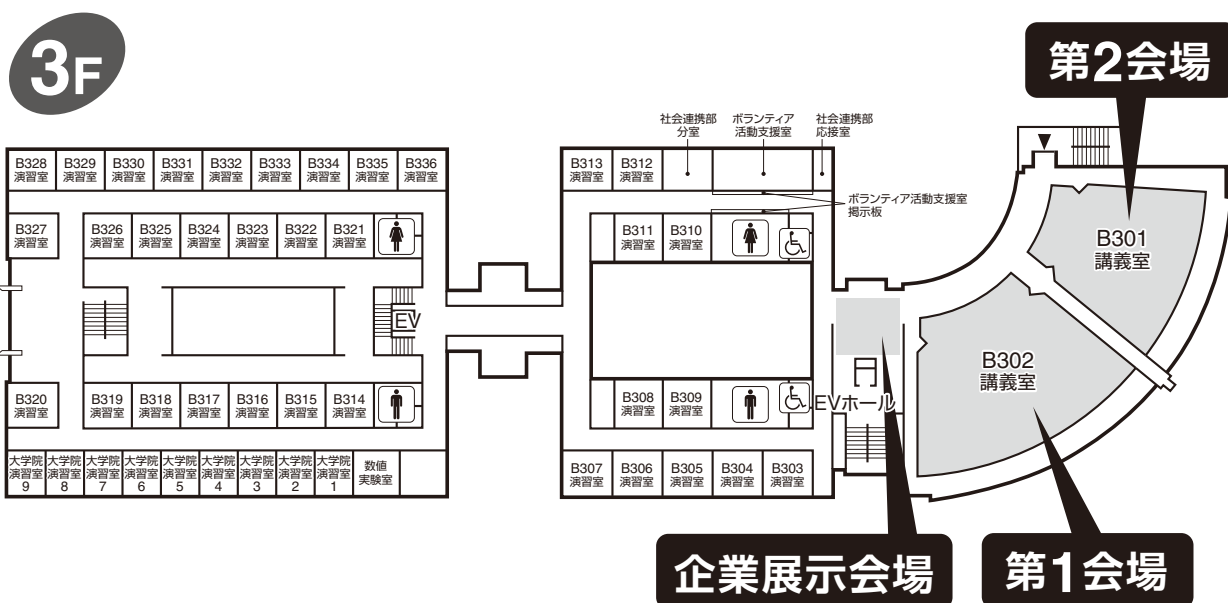
|      |                   |             |                  |               |
|------|-------------------|-------------|------------------|---------------|
| 姫路   | 36分               | 神戸          | 約15分             | ポートアイランドキャンパス |
|      | JR神戸線新快速          |             | 直通バス             |               |
| 大阪   | 39分               | 三ノ宮・三宮・神戸三宮 | 約14分             |               |
|      | JR神戸線新快速          |             | 直通バス             |               |
| 京都   | 22分               | みなとじま       | 約9分              | 約6分<br>徒歩     |
|      | JR神戸線新快速          |             | 神戸新交通<br>ポートライナー |               |
| 奈良   | 55分               |             |                  |               |
|      | JR京都線・神戸線新快速      |             |                  |               |
| 神戸空港 | 約80分              |             |                  |               |
|      | 近鉄奈良線・阪神なんば線・阪神本線 |             |                  |               |
|      | 約9分               |             |                  |               |
|      | 神戸新交通ポートライナー      |             |                  |               |

## キャンパスマップ





## B号館



## 参加者へのご案内

### ■事前参加登録

参加を希望される方は、会員・非会員を問わず参加登録が必要です。  
参加登録はインターネットからのオンライン参加登録のみとなります。  
現地での参加を希望される場合も事前参加登録をお願いいたします。

#### オンライン参加登録のご案内

1. 参加者情報登録 → 2. オンライン決済 → 3. 参加登録完了

#### 1. 参加者情報登録

学術大会ホームページ ([https://www.painreha.com/public/signup\\_form.php](https://www.painreha.com/public/signup_form.php)) から、または  
LINE アプリ (<https://lin.ee/SPOi24X>) 「参加申込」 から参加者情報を登録してください。

#### 2. オンライン決済

参加費のお支払いは Peatix を利用したオンライン決済で行います。以下の参加費をご確認のうえ、「参加者情報登録」後に配信されるメールを参照し、お支払いのお手続きをお願いします。

- ◆ はじめて Peatix を利用される方は、アカウントを取得(新規登録)していただく必要があります。
- ◆ Peatix のご利用方法について詳しくは、学術大会ホームページ【初めてご利用される参加者様向け】「peatix ご利用の流れ」をご確認ください。

#### 3. 参加登録完了

事務局にて参加費のお支払いを確認後、参加登録が完了となります。「Web 視聴ログイン」ページから学術大会への参加やオンデマンド配信の視聴が可能となります。

- ◆ Peatix でのお支払いから参加登録完了まで、時間がかかる可能性がございます。参加費をお支払い済みにもかかわらずログインができない場合には [japr26@painreha.com](mailto:japr26@painreha.com) までご連絡ください。

### ■参加登録期間

2022年4月11日(月)正午～6月25日(土)

### ■参加費

会 員：10,000円

非会員：12,000円

学 生：1,000円

但：学生は学部生に限ります(大学院生は含みません)。

- ◆ お支払いには、クレジットカード決済、コンビニ・銀行 ATM 等での送金などがご利用いただけます。なお、コンビニ・銀行 ATM 等での送金はお手続きの締切が6月24日(金)14時までとなりますのでご注意ください。お支払いについて詳しくは学術大会ホームページをご覧ください。
- ◆ もし Peatix を利用したお支払いが難しい場合は、大会事務局までご連絡ください。
- ◆ 大会終了後に領収書を大会事務局から郵送致します。
- ◆ ご入金後は如何なる理由においてもキャンセルとそれに伴う返金が出来ませんので二重登録等にご注意ください。ご自身の都合により学術大会への参加ができなくなった場合も、返金はいたしかねます。

## ■参加方法

本学術大会は現地およびオンラインのハイブリッド開催となります。

現地参加の場合は会場までお越しください。

### 1. 総合受付

場 所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B 号館 2階

受付時間：6月11日(土) 9:00～17:30

6月12日(日) 9:00～14:30

### 2. クローク

場 所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B 号館 B207

受付時間：6月11日(土) 9:00～19:00

6月12日(日) 9:00～17:00

オンラインでのご参加には、Zoom (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) を利用できる環境が必要です。各自でご準備ください。

学術大会ホームページまたはLINE アプリ「Web 視聴ログイン」からご参加ください。

※オンラインで学会を利用するにあたり、最新版のChrome, Firefox, edge, safari をご利用ください。InternetExplorer はご利用いただけない場合があります。

## ■LIVE 配信(講演・演題)へのご質問について

LIVE 配信(講演・演題)は講演および発表後にLIVEで質疑応答を受け付けます。ご質問がある場合は、ウェビナーの挙手マークをクリックしお待ちください。座長から指名がありましたらご発言下さい。また、現地参加の方は質問者マイクの前でお待ちいただき、座長から指名がありましたらご発言下さい。

## ■オンデマンド配信について

6月26日(日)17時までオンデマンドによる配信を予定しております。学術大会ホームページまたはLINE アプリ「Web 視聴ログイン」からオンデマンド配信コンテンツをご視聴ください。

## ■オンデマンド配信(一般演題)へのご質問について

本学術大会ではオンデマンド配信の一般演題についてはslackを使用して質問を受け付けます。

一般演題に関しましては6月3日(金)から6月26日(日)17時までの間、演題を自由に閲覧していただき、ご質問やご意見等があればslackから、お名前、ご所属等を記載の上、ご質問内容を記載してください。slackの使用方法については学術大会ホームページ「参加者へのご案内」をご覧ください。

オンデマンド配信期間を過ぎてのご質問にはご回答できませんのでご了承ください。

## ■企業展示

会 場：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B 号館 3階

時 間：6月11日(土) 9:00～18:00

6月12日(日) 9:00～16:00

## ■教育講演受講証の発行について

教育講演修了証の発行をご希望の方は、学術大会前にご参加の方へ送信する学術大会事務局からのメールに記載しております手順でお申込みください。

教育講演当日の視聴確認方法：

1. 教育講演の開始直前に Zoom のチャットに視聴確認用の Google フォーム URL を記載しますので、URL をクリックしてリンクを開き、お名前、ご所属を記載の上、「○：聴講を開始します」のボタンをクリックしてください。
2. 教育講演の終了後に同様に Zoom のチャットに視聴確認用の Google フォーム URL を記載しますので、URL をクリックしてリンクを開き、お名前、ご所属を記載の上、「○：聴講を終了しました」のボタンをクリックしてください。
3. 聴講されたことが確認されましたら学術大会終了後に修了証を郵送致します。

## ■禁止事項

1. 講演や演題発表のすべてまたは一部を不正に電磁機器にデジタル情報として保存する行為  
例) 画面のスクリーンショット、画面録画などの保存
2. 講演や演題発表で用いられた動画ファイル、PDF ファイルの不正取得・不正印刷する行為  
例) 不正なソフトを用いて強制的にファイルをダウンロードする・印刷するなど
3. 講演や演題で発表された数値データやアイデアを不正に他で公表する行為  
例) スライドを撮影して自分の講演で披露すること、SNS でスクリーンショットをアップして紹介することなど
4. チャット内や SNS などに発表者やその他の方の個人情報を書き込む行為  
例) 発表内容から推察して症例の転院先を書き込む、連絡のために E-mail を書き込むなど
5. チャット内や SNS などに通常の学術的議論を超えた人格を否定するような誹謗中傷・非難、特定の人物・組織の信用を失墜させるような書き込み等を行う行為  
例) ○○は馬鹿だ、○○施設では十分なリハが行われていない、△△は気に入らない  
※なお、発表中のチャット内や SNS では絶対に誹謗中傷をしないようにしてください
6. その他、学術大会に関わらない情報をチャット内や SNS などに書き込む行為  
例) コマーシャルのための説明・URL、個人的連絡事項

\* Web に公開しているプログラム(ポスターを含む)の写真・動画撮影・録音・録画・他の Web 上コンテンツへのアップロードは、発表者の著作権保護や対象者のプライバシー保護の為、禁止させていただきます。本学術大会で配信する動画の著作権は日本ペインリハビリテーション学会に帰属します。万が一、他の Web 上コンテンツ等への無断の転載等を見つけた場合、法的処置を行います。

## 発表者へのご案内

### ■発表形式

一般演題の発表は事前収録した動画によるオンデマンド発表(発表時間5分)に加え、学術大会当日(2022年6月11日・12日)に会場またはオンラインにてLIVE発表(発表内容紹介2分、質疑応答3分)となります。

- オンラインのLIVE発表は学会当日にWeb会議システム「Zoom Webinar」にて発表いただきます。
- ※オンデマンド配信では、学術大会当日の発表の録画ではなく、事前にご提出いただいた動画データがオンデマンド配信されます

### ■発表までの準備

#### 1. オンデマンド用発表動画

ファイル形式：MP4

発表時間：5分

※Microsoft Power Pointで作成後、MP4形式に変換してください。

#### 2. 発表内容紹介用スライド

ファイル形式：Microsoft Power Point

スライド枚数：1枚

※動画および音声入りのスライド、PowerPointのアニメーション機能の使用はできませんのでご承知ください。

- 発表動画および発表内容紹介用スライドの作成マニュアルおよび提出については学術大会ホームページ「発表者へのご案内」(<https://www.painreha.com/presenter/>)をご参照ください。
- 提出の期限は5月27日(金)です。

### ■オンデマンド配信期間

6月3日(金)～6月26日(日)

### ■学術大会当日の発表について

- 1演題あたりの発表時間は5分(発表内容紹介2分、質疑応答3分)です。
- 座長が演題名、所属、筆頭演者名を紹介しますので、その後にご発表ください。
- 発表時には発表内容紹介用スライドが会場スクリーンおよびZoom画面上に示されます。
- スライドの操作はすべて事務局で行います。

### ■オンラインでの発表の注意点

- オンラインでの発表はWeb会議システム「Zoom Webinar」をご利用いただきます。
- オンラインでの発表の場合、発表者は該当のセッション時、パネリストとして参加します。
- 担当セッション開始予定時刻の10分前までに事前にご案内しますZoom URLよりアクセスください。
- アクセス後、パスコードとお名前、メールアドレスを入力してください。
- マイク、カメラ、画面共有が使用できるか確認してください。

- ・使用していないアプリケーションは完全に終了してください
  - ・口述発表、質疑応答、討論を含めて時間内で終了するようにご協力ください。
  - ・スライドの操作はすべて事務局で行います。
  - ・接続の不具合など、トラブルの発生も予想されますが、座長の指示に従い臨機応変なご対応をお願いいたします。
- ※安定したインターネット環境でのご参加をお願いいたします。
- ※発言以外はマイクをミュートにするようお願いいたします。発言時はマイクのミュートが解除されているかご確認ください。
- ※質疑応答時にご自身の顔がよく映るよう、事前にご確認をお願いいたします。

#### ■ 現地会場での発表の注意点

- ・担当セッションの会場にてご発表いただきます。
- ・担当セッション開始予定時刻の10分前に会場内左手前方、「次演者席」周辺にお越しください。

#### ■ 倫理上の注意

1. ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認してください。
2. 発表演題に対する倫理的配慮を発表内に含めてください。
3. 特にプライバシーや人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことをスライドもしくはポスター内に明記してください。

#### ■ 利益相反の開示について

1. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会での発表者は、スライド内に利益相反の有無および利益相反がある場合には企業名を提示してください。
2. 発表スライドの2枚目に、別に定める(様式1)(<http://japr.hp4u.jp/COI>)より、利益相反に関する報告事項を開示してください。
3. なお、利益相反に関する報告すべき事項がある場合は、(様式2)(<http://japr.hp4u.jp/COI>)を抄録と共に学術大会事務局([japr26@painreha.com](mailto:japr26@painreha.com))まで事前に提出してください。

※その他、最新の情報は学術大会ホームページ(<https://www.painreha.com/presenter/>)をご確認ください。

### 第27回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

会 期：2023年6月24日(土)・25日(日)

会 場：名古屋市内(予定)

大 会 長：井上 雅之(愛知医科大学 運動療育センター)

準備委員長：坂野 裕洋(日本福祉大学 健康科学部)

1日目 2022年6月11日土

|       | 第1会場<br>3F B302                                                                                                | 第2会場<br>3F B301                        | 第3会場<br>2F B203                         | 第4会場<br>2F B202                        | オンデマンド                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------|
| 9:00  | 9:00～                                                                                                          | 受付開始                                   |                                         |                                        |                                             |
|       | 9:25～                                                                                                          | 大会長挨拶                                  |                                         |                                        |                                             |
| 10:00 | 9:30～10:30<br>基調講演<br>ミクロ・マクロの両視点からみた<br>痛みの史的考察<br>座長：松原 貴子<br>講師：田口 敏彦                                       |                                        |                                         |                                        | e-learning プリント<br>配信期間 … 4月11日(月)～6月26日(日) |
| 11:00 | 10:40～12:10<br>共催シンポジウム 1<br>疼痛治療 up to date<br>座長：牛田 享宏、城 由起子<br>講師：名越 慈人、吉村 文貴<br>細見 晃一、大住 倫弘<br>共催：第一三共株式会社 |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 12:00 |                                                                                                                |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 13:00 | 12:30～13:30<br>ランチョンセミナー 1<br>ニコチンが作り出す慢性疼痛<br>—疼痛患者の禁煙ステートメント—<br>座長：松原 貴子<br>講師：飯田 宏樹                        |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 14:00 | 13:50～14:50<br>特別講演 1<br>慢性炎症と<br>ペインリハビリテーション<br>座長：松原 貴子<br>講師：半場 道子                                         |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 15:00 | 15:00～15:30<br>一般演題 1 病態 1<br>座長：田中 創                                                                          | 15:00～15:30<br>一般演題 2 治療 1<br>座長：島原 範芳 | 15:00～15:30<br>一般演題 3 基礎 1<br>座長：本田 祐一郎 | 15:00～15:30<br>一般演題 4 評価 1<br>座長：近藤 康隆 | サテライトプログラム<br>配信期間 … 5月16日(月)～6月26日(日)      |
| 16:00 | 15:30～16:00<br>一般演題 5 治療 2<br>座長：許山 勝弘                                                                         | 15:30～16:00<br>一般演題 6 評価 2<br>座長：今井 亮太 | 15:30～16:00<br>一般演題 7 評価 3<br>座長：大友 篤   | 15:30～16:00<br>一般演題 8 治療 3<br>座長：金原 一宏 |                                             |
| 17:00 | 16:10～17:30<br>シンポジウム 2<br>疼痛調節機能とその評価<br>座長：西上 智彦<br>講師：小幡 英章、小田 翔太<br>服部 貴文                                  |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 18:00 | 17:40～18:40<br>特別講演 2<br>“疼痛患者のこころの声を聴く”<br>ために医療者が知っておきたい<br>こと<br>座長：森岡 周<br>講師：堀越 勝                         |                                        |                                         |                                        |                                             |
| 19:00 |                                                                                                                |                                        |                                         |                                        |                                             |



**2日目 2022年6月12日(日)**

|       | 第1会場<br>3F B302                                                                                                                                                                                                       | 第2会場<br>3F B301                                             | 第3会場<br>2F B203                                              | 第4会場<br>2F B202                                             | 市民公開講座<br>D101                                                                         | オンデマンド |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 9:00  |                                                                                                                                                                                                                       |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 10:00 | 9:30~10:50<br><b>教育講演</b><br>1. 慢性疼痛診療ガイドライン<br>—リハビリテーション—<br>座長：坂本 淳哉 講師：片岡 英樹<br>2. 行動科学的アプローチ<br>—CBT, マインドフルネス, ACT—<br>座長：本谷 亮 講師：坂本 淳哉<br>3. 痛みの用語と定義 一痛覚変調性<br>疼痛 nociplastic pain について—<br>座長：加藤 総夫 講師：肥田 朋子 |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 11:00 | 10:50~12:10<br><b>シンポジウム 3</b><br>ロコモ・サルコペニア・<br>フレイル疼痛への挑戦<br>座長：坂野 裕洋<br>講師：帖佐 悦男、山田 実<br>平瀬 達哉                                                                                                                     |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 12:00 | 12:20~13:20<br><b>ランチョンセミナー 2</b><br><b>がんの運動器診療</b><br><b>—がんロコモのマネジメント—</b><br>座長：加藤 実<br>講師：高木 辰哉<br>共催：塩野義製薬株式会社                                                                                                  |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 13:00 |                                                                                                                                                                                                                       |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 14:00 | 13:40~14:20<br><b>一般演題 9</b><br><b>治療 4</b><br>座長：平川 善之                                                                                                                                                               | 13:40~14:20<br><b>一般演題 10</b><br><b>評価 4・疫学</b><br>座長：田中 克宜 | 13:40~14:20<br><b>一般演題 11</b><br><b>病態 2</b><br>座長：服部 貴文     | 13:40~14:20<br><b>一般演題 12</b><br><b>治療 5・その他</b><br>座長：壬生 彰 | 13:30~14:30<br><b>市民公開講座</b><br><b>痛みに負けない</b><br><b>カラダづくり</b><br>座長：沖田 実<br>講師：井上 雅之 |        |
| 15:00 | 14:30~15:10<br><b>一般演題 13</b><br><b>評価 5</b><br>座長：重藤 隼人                                                                                                                                                              | 14:30~15:10<br><b>一般演題 14</b><br><b>治療 6</b><br>座長：佐藤 剛介    | 14:30~15:10<br><b>一般演題 15</b><br><b>基礎 2・病態 3</b><br>座長：後藤 響 | 14:30~15:10<br><b>一般演題 16</b><br><b>治療 7</b><br>座長：会田 記章    |                                                                                        |        |
| 16:00 | 15:20~16:40<br><b>シンポジウム 4</b><br><b>運動療法の有効性と</b><br><b>そのメカニズム</b><br>座長：松原 貴子、井上 雅之<br>講師：仙波 恵美子、島田 明子<br>小川 寛恭、下 和弘                                                                                               |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |
| 17:00 | 16:50~17:00<br><b>閉会式</b>                                                                                                                                                                                             |                                                             |                                                              |                                                             |                                                                                        |        |

**サテライトプログラム**

配信期間 … 5月16日(月)～6月26日(日)

**e-learning プリント**

配信期間 … 4月11日(月)～6月26日(日)



## 学会奨励賞一覧

### ■学会奨励賞について

第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会におきましては以下の学会奨励賞演題から、最優秀賞1名、優秀賞1名を選出いたします。

#### 〈学会奨励賞演題〉

**O1-1** 重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科

Neglect-like symptoms は慢性腰痛患者の特異的運動制御に関連する  
—ランダムフォレスト後の一般化線形モデル分析—

**O1-2** 服部 貴文 前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部

変形性膝関節症における運動誘発性疼痛に関与する要因の検討

**O5-1** 出口 直樹 福岡リハビリテーション病院

高位脛骨骨切り術患者に対する入院型疼痛管理プログラムの  
短期的な効果に性別と術前の心理的特徴は影響するか？

**O5-2** 後藤 響 社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部

大腿骨近位部骨折術後患者に対する共有意思決定に基づいた  
行動医学的介入の効果に関する予備的検討

## プログラム

### 基調講演

6月11日(土) 9:30～10:30 第1会場(3F B302)

#### ミクロ・マクロの両視点からみた痛みの史的考察

座長：松原 貴子 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

講師：田口 敏彦 山口労災病院 病院長

### 特別講演1

6月11日(土) 13:50～14:50 第1会場(3F B302)

#### SL-1 慢性炎症とペインリハビリテーション

座長：松原 貴子 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

講師：半場 道子 福島県立医科大学 医学部 整形外科学講座

### 特別講演2

6月11日(土) 17:40～18:40 第1会場(3F B302)

#### SL-2 “疼痛患者のこころの声を聴く”ために 医療者が知っておきたいこと

座長：森岡 周 畿央大学大学院 健康科学研究科

講師：堀越 勝 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

**共催シンポジウム1**

6月11日(土) 10:40~12:10 第1会場(3F B302)

座長：牛田 享宏(愛知医科大学病院 疼痛緩和外科・いたみセンター)

城 由起子(名古屋学院大学 リハビリテーション学部)

**[ 疼痛治療 up to date ]****S1-1 脊髄損傷に対する再生医療の現状と未来**

名越 慈人 慶応義塾大学 医学部 整形外科教室

**S1-2 運動器慢性疼痛に対する運動療法とパルス高周波法の融合**

吉村 文貴 岐阜大学大学院 医学系研究科 麻酔科・疼痛医学分野

**S1-3 中枢性脳卒中後疼痛の病態生理と最新治療**

細見 晃一 大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学

**S1-4 運動療法最前線**

大住 倫弘 畿央大学大学院 健康科学研究科

共催：第一三共株式会社

**シンポジウム2**

6月11日(土) 16:10~17:30 第1会場(3F B302)

座長：西上 智彦(県立広島大学 保健福祉学部)

**[ 疼痛調節機能とその評価 ]****S2-1 疼痛調節機能のメカニズム**

小幡 英章 埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科

**S2-2 定量的感覚検査を用いた疼痛調節機能の評価**

小田 翔太 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

**S2-3 慢性疼痛における疼痛調節機能の変調とリハビリテーション戦略**

服部 貴文 前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部

**シンポジウム3**

6月12日(日) 10:50~12:10 第1会場(3F B302)

座長：坂野 裕洋(日本福祉大学 健康科学部)

**[ ロコモ・サルコペニア・フレイル疼痛への挑戦 ]****S3-1** ロコモティブシンドロームにおける運動器疼痛に対する  
リハビリテーション医療

帖佐 悦男 宮崎大学医学部附属病院 病院長

**S3-2** サルコペニアとフレイルサイクル

山田 実 筑波大学 人間系

**S3-3** 高齢者における疼痛の特性とその介入戦略の実際

平瀬 達哉 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部

**シンポジウム4**

6月12日(日) 15:20~16:40 第1会場(3F B302)

座長：松原 貴子(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)

井上 雅之(愛知医科大学 運動療育センター・学際的痛みセンター)

**[ 運動療法の有効性とそのメカニズム ]****S4-1** 運動療法が奏功する脳メカニズム

仙波 恵美子 大阪行岡医療大学 医療学部 理学療法学科

**S4-2** 有痛性顎関節症への運動療法

島田 明子 長崎大学 生命医科学域・歯学系

**S4-3** 変形性膝関節症に対する運動刺激

小川 寛恭 岐阜大学大学院 医学系研究科 整形外科科学講座

**S4-4** 運動の効果メカニズムの探索

下 和弘 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

## 教育講演

6月12日(日) 9:30~10:50 第1会場(3F B302)

**EL-1 慢性疼痛診療ガイドライン リハビリテーション**

座長：片岡 英樹 長崎記念病院 リハビリテーション部

講師：坂本 淳哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系

**EL-2 行動科学的アプローチ  
ー CBT, マインドフルネス, ACT**

座長：坂本 淳哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系

講師：本谷 亮 北海道医療大学 心理科学部

**EL-3 痛みの用語と定義  
ー 痛覚変調性疼痛 nociplastic pain について**

座長：肥田 朋子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部

講師：加藤 総夫 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部

## ランチョンセミナー1

6月11日(土) 12:30~13:30 第1会場(3F B302)

**ニコチンが作り出す慢性疼痛  
ー 疼痛患者の禁煙ステートメント**

座長：松原 貴子 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

講師：飯田 宏樹 中部国際医療センター 麻酔・疼痛・侵襲制御センター

## ランチョンセミナー2

6月12日(日) 12:20~13:20 第1会場(3F B302)

**がんの運動器診療 ーがん口コモのマネジメントー**座長：加藤 実 春日部市立医療センター 緩和ケア・ペインクリニック科／  
日本大学 医学部 麻酔科学系 麻酔科学分野

講師：高木 辰哉 順天堂大学 整形外科・リハビリテーション科・緩和ケアセンター

共催：塩野義製薬株式会社

**市民公開講座**6月12日(日) 13:30～14:30 市民公開講座(D101)

---

**痛みに負けないカラダづくり**

座長：沖田 実 長崎大学 生命医科学域・保健学系

講師：井上 雅之 愛知医科大学 運動療育センター・学際的痛みセンター

# オンデマンド

配信期間：4月11日(月)～6月26日(日)

## サテライトプログラム(ミニレクチャー)

- 01 痛みのやさしい脳科学入門 ―痛みの発生から抑制まで―**  
土井 篤 熊本保健科学大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
- 02 知っておきたいペインリハの基礎知識  
― e-learning を活用した学習で ―**  
坂本 淳哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野
- 03 痛みの患者立脚型評価**  
田中 克宜 佛教大学 保健医療技術学部 理学療法学科
- 04 リハ診療でできる痛みの神経機能評価**  
服部 貴文 前原整形リハビリテーションクリニック リハビリテーション部  
神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科  
愛知医科大学 学際的痛みセンター
- 05 脊椎・脊髄疾患に由来する痛み**  
佐藤 剛介 奈良県総合医療センター リハビリテーション部
- 06 がんの痛み**  
大賀 智史 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
- 07 勤労者の慢性腰痛 ―プレゼンティーズムを考える―**  
吉本 隆彦 昭和大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座
- 08 肩こりの病態と予防 ―一次予防から三次予防まで―**  
城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部  
愛知医科大学 学際的痛みセンター
- 09 関節痛の病態と評価・治療 ～変形性膝関節症～**  
田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
- 10 術後遷延痛の病態と予防・治療 ―開胸・開腹術, 脊椎・関節術―**  
井上 雅之 愛知医科大学運動療育センター・学際的痛みセンター
- 11 CRPS の病態と評価・治療**  
江草 典政 島根大学附属病院 リハビリテーション部



- 12** 運動による鎮痛 —Exercise-induced hypoalgesia—  
下 和弘 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
- 13** 痛みのニューロリハビリテーション —適応と禁忌—  
大住 倫弘 畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター
- 14** 痛みの物理療法 —急性痛へのアプローチ—  
佐々木 遼 十善会病院 リハビリテーション科  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野
- 15** 痛みの徒手療法  
重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部
- 16** 痛みの作業療法  
平賀 勇貴 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 作業療法学科
- 17** 痛みの看護ケア ～全人的に慢性痛病者を支援するために～  
佐藤 今子 日本大学医学部附属板橋病院 看護部

## e-learning コンテンツ

- 01** 痛みの定義・概念  
沖田 実 長崎大学 生命医科学域・保健学系
- 02** 痛みの神経生理学Ⅰ  
肥田 朋子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部
- 03** 痛みの神経生理学Ⅱ  
大住 倫弘 畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター
- 04** 侵害受容性疼痛のメカニズム  
坂本 淳哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系
- 05** 神経障害性疼痛および中枢機能障害性疼痛のメカニズム  
今井 亮太 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部
- 06** 不活動性疼痛のメカニズム  
坂本 淳哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系
- 07** 痛みのリハビリテーション評価の考え方  
城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部

- 08** 痛みのリハビリテーション評価の考え方 ―問診―  
城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部
- 09** 痛みのリハビリテーション評価の実際Ⅰ  
―痛みの感覚・情動・認知的側面―  
西上 智彦 県立広島大学 保健福祉学部
- 10** 痛みのリハビリテーション評価の実際Ⅱ  
―身体・運動機能, 身体活動量, QOL―  
下 和弘 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
- 11** 急性痛に対する物理療法の考え方と実際  
坂野 裕洋 日本福祉大学 健康科学部
- 12** 急性痛に対する運動療法, 活動促進プログラムの考え方と実際  
片岡 英樹 長崎記念病院 リハビリテーション部
- 13** 患者教育を併用した急性痛に対するリハビリテーション  
平川 善之 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- 14** 慢性疼痛に対する運動療法  
松原 貴子 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
- 15** 慢性疼痛に対する神経リハビリテーション  
森岡 周 畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター
- 16** 慢性疼痛に対する集学的リハビリテーション  
井上 雅之 愛知医科大学 運動療育センター・学際的痛みセンター
- 17** 慢性疼痛に対する集学的リハ ―実践編―  
井上 雅之 愛知医科大学 運動療育センター・学際的痛みセンター

## 一般演題セッション プログラム

### 一般演題1 [ 病態1 ]

6月11日(土) 15:00~15:30 第1会場(3F B302)

座長: 田中 創(福岡整形外科病院 リハビリテーション科)

- O1-1** Neglect-like symptoms は慢性腰痛患者の特異的運動制御に関連する  
—ランダムフォレスト後の一般化線形モデル分析—  
重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科
- O1-2** 変形性膝関節症における運動誘発性疼痛に関与する要因の検討  
服部 貴文 前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部
- O1-3** 前十字靱帯再建術後3ヵ月時における膝前面痛の有無と圧痛閾値の関連性  
藤田 慎矢 医療法人同信会 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
- O1-4** 人工股関節全置換術と人工膝関節全置換術の術後疼痛症状経過の  
違いに関する検討  
池村 明里 石川病院 リハビリテーション部
- O1-5** 大腿骨近位部骨折術後痛の遷延化因子の検証  
—運動イメージ能力を含めた解析—  
山口 修平 済衆館病院 リハビリテーション科
- O1-6** 急性痛と慢性疼痛に特異的な運動痛の性質  
—アソシエーションルール分析を用いて—  
重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部

### 一般演題2 [ 治療1 ]

6月11日(土) 15:00~15:30 第2会場(3F B301)

座長: 島原 範芳(道後温泉病院 リウマチセンターリハビリテーション科)

- O2-1** 回復期病棟における高齢運動器疾患患者に対する患者教育の試み  
—より簡便な患者教育プログラムの開発を目指して—  
山田 良 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター
- O2-2** 疼痛教育が Fear-Avoidance からの脱却に寄与し腰痛軽減につながった一症例  
渡辺 優也 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
- O2-3** 破局的思考の強い腰部脊柱管狭窄症症例に対して  
Pain Neuroscience Education と運動療法を併用した介入が奏功した経験  
山下 浩史 のぞみ整形外科クリニック西条

**O2-4** 肩関節周囲炎に対してステロイド注射に患者教育の併用が  
疼痛改善につながった一例

新田 麻美 北海道医療大学病院 リハビリテーション室

**O2-5** 自閉症スペクトラム障害を有する多発外傷後疼痛患者に対し  
行動観察に基づく患者教育と段階的運動療法により  
疼痛関連症状の改善を認めた一症例

前田 創 兵庫県立リハビリテーション中央病院

**O2-6** 運動療法と eHealth を用いた患者教育が  
アロマターゼ阻害薬誘発性関節痛に対して奏功した症例

萬福 允博 乳腺ケア泉州クリニック リハビリテーション科

**一般演題3 [基礎1]**

6月11日(土) 15:00~15:30 第3会場(2F B203)

座長：本田 祐一郎(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野)

**O3-1** 不活動性筋痛の予防に有効な運動様式の検討  
—電気刺激誘発性筋収縮運動と持続的伸張運動の比較—

沖田 星馬 日本赤十字社長崎原爆病院 リハビリテーション科

**O3-2** 寒冷療法単独および寒冷療法と温熱療法の併用が  
ラット有痛性瘢痕モデルにおよぼす影響

吉梅 智恵 長崎大学 医学部 保健学科

**O3-3** 低強度パルス超音波フォノフォレーシスによる疼痛軽減効果のメカニズムの検討  
—ラット膝関節炎モデルを用いた検討—

佐々木 遼 十善会病院 リハビリテーション科

**O3-4** DOMS に伴う筋機能障害に対する低出力パルス超音波療法の  
介入効果に関する検討

坂野 裕洋 日本福祉大学健康科学部

**O3-5** 安静時脳波の修飾が疼痛閾値へ及ぼす影響  
—健常者を対象とした予備的研究—

佐藤 剛介 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

**O3-6** 行動観察による疼痛評価は実験的侵害刺激の強度を反映するか

下 和弘 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

## 一般演題4 [ 評価1 ]

6月11日(土) 15:00~15:30 第4会場(2F B202)

座長：近藤 康隆(日本赤十字社 長崎原爆病院 リハビリテーション科)

- O4-1** 脳卒中後疼痛は片麻痺患者の上肢活動量低下を助長させる  
西 祐樹 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
- O4-2** 鏡視下腱板修復術後の疼痛患者に対する上肢活動量を用いた作業療法の可能性  
長倉 侑祐 医療法人健生会 たつえクリニック
- O4-3** 痛みや上肢の使用状況の改善と客観的な上肢活動量の向上が関連しなかった肩関節周囲炎の一例  
菊池 智也 ウツミ整形外科医院 リハビリテーション科
- O4-4** 全人工膝関節置換術後の急性期における歩数の変動が1ヶ月後の疼痛や歩数に与える影響  
内藤 卓也 福岡リハビリテーション病院
- O4-5** 身体活動量が日中の疼痛律動性に及ぼす影響  
田中 陽一 兵庫医科大学 リハビリテーション学部
- O4-6** 行動医学的介入を併用したリハビリテーションの有効性が乏しい脊椎圧迫骨折患者の多面的特徴  
片岡 英樹 社会医療法人 長崎記念病院

## 一般演題5 [ 治療2 ]

6月11日(土) 15:30~16:00 第1会場(3F B302)

座長：許山 勝弘(福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

- O5-1** 高位脛骨骨切り術患者に対する入院型疼痛管理プログラムの短期的な効果に性別と術前の心理的特徴は影響するか？  
出口 直樹 福岡リハビリテーション病院
- O5-2** 大腿骨近位部骨折術後患者に対する共有意思決定に基づいた行動医学的介入の効果に関する予備的検討  
後藤 響 社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部
- O5-3** 変形性膝関節症に対する shared decision making による運動処方が運動アドヒアランスと疼痛症状に与える影響：ランダム化比較試験  
本田 太一 医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック
- O5-4** 共有意思決定を考慮した関わりは疼痛管理に有効か～ Locus of Control に着目した運動器疼痛患者の一例～  
壹岐 伸弥 川口脳神経外科リハビリクリニック

**O5-5** 脊椎術後疼痛症候群患者に対するペインマネジメントプログラムによる痛み関連指標、運動機能、自覚的改善度への影響

井上 雅之 愛知医科大学 運動療育センター

**一般演題6** [ 評価2 ]

6月11日(土) 15:30~16:00 第2会場(3F B301)

座長：今井 亮太(大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法専攻)

**O6-1** 肩関節鏡視下腱板修復術後6ヵ月の遷延性術後痛患者の特徴

小山田 泰健 医療法人正明会 諸岡整形外科クリニック 理学療法部

**O6-2** 大腿骨近位部骨折術後に疼痛が残存する患者の特徴について—圧痛閾値を含めた多面的評価による縦断的検討—

野元 祐太郎 長崎記念病院 リハビリテーション部

**O6-3** 人工膝関節全置換術の術後遷延性疼痛に関与する術前危険因子について

朝倉 淳弥 前原外科・整形外科 小児科 リハビリテーション部

**O6-4** 人工膝関節全置換術後患者における術前後の疼痛関連因子が時期別疼痛発生状況に及ぼす影響

友岡 佑太 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

**O6-5** 全人工膝関節置換術後における術後3ヵ月の安静時痛の有無と術後早期の圧痛閾値および時間的加重：症例対象研究

清浦 康平 医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院

**一般演題7** [ 評価3 ]

6月11日(土) 15:30~16:00 第3会場(2F B203)

座長：大友 篤(仙台ペインクリニック)

**O7-1** 慢性疼痛患者の痛みの強度と心理的要因の関連性についての縦断的な調査

大澤 幸一 仙台ペインクリニック リハビリテーション科

**O7-2** 小児緊張型頭痛患者の理学療法における心理的評価の重要性を認識した症例

足立 功浩 医療法人社団 三友会 サカイ脳神経外科

**O7-3** 変形性膝関節症患者における恐怖回避思考と動作時の共収縮との関連

谷口 隆憲 福岡国際医療福祉大学 医療学部 理学療法学科

**O7-4** 腰部脊柱管狭窄症患者の腰椎動作の円滑さと痛みの破局的思考との関連

和田 崇 鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部

## 07-5 運動器疾患患者の破局的思考に対する Locus of Control と共有意思決定の役割 —横断研究—

長倉 侑祐 医療法人健生会 たつえクリニック

### 一般演題8 [治療3]

6月11日(土) 15:30~16:00 第4会場(2F B202)

座長：金原 一宏(聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部)

## 08-1 腰痛を有する就労者における体幹の協調運動障害と 課題特異的な運動恐怖の経時的変化ならびに関連性：1症例による検討

藤井 廉 畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室

## 08-2 痛みに対する過剰な注意と身体知覚異常に対する介入が有効であった 脊椎圧迫骨折の一症例

近藤 祐太郎 社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部

## 08-3 身体知覚異常が生じていた恥骨骨折症例に対する早期からの識別課題の実践

袴田 友樹 医療法人社団 葛西中央病院 リハビリテーション科

## 08-4 脊椎術後早期の身体性変容と痛みの関連について

中村 拓海 東京都教職員互助会 三楽病院

## 08-5 鏡像肢知覚評価に基づく段階的鏡療法と患部への触覚脱感作課題により 手指機能の改善とアロディニアの軽減が得られた複合性局所疼痛症候群症例

壬生 彰 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科

### 一般演題9 [治療4]

6月12日(日) 13:40~14:20 第1会場(3F B302)

座長：平川 善之(福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

## 09-1 高齢者に対する身体活動促進プログラムは運動器疼痛の新規発生の予防に 効果的か？ —ランダム化比較試験による効果検証—

平瀬 達哉 長崎大学 生命医科学域・保健学系

## 09-2 不活動性疼痛の改善に着目した介入が行動・心理症状の改善をもたらし、 介護負担の軽減に繋がった混合型認知症の一症例

青木 秀樹 社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部

## 09-3 膝前面痛に対し、ペーシングに着目した介入が奏功した若年女性の一症例

木田 洋希 トヨタ記念病院 リハビリテーション科



- O9-4** 膠原病患者に対して、心理士による行動変容で疼痛マネジメントが可能になった2症例  
村上 安壽子 順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座
- O9-5** 慢性疼痛患者に対する運動療法と認知行動療法の理論に基づくプログラムの社会活動における支障度への効果  
会田 記章 順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室
- O9-6** 認知症高齢者の慢性疼痛に対して、集学的なアプローチが有効であった一症例  
堀口 怜志 医療法人寿山会 喜馬病院
- O9-7** 慢性疼痛患者に対する短期入院型・集学的ペインマネジメントプログラムの長期効果  
中楚 友一郎 愛知医科大学 運動療育センター

**一般演題10** [ 評価4・疫学 ]

6月12日(日) 13:40~14:20 第2会場(3F B301)

座長：田中 克宜(佛教大学 保健医療技術学部)

- O10-1** 日本語版 Central Aspects of Pain in the Knee の信頼性、妥当性の検討  
岡 智大 大阪保健医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
- O10-2** 脳卒中後失語症患者的疼痛行動特性  
—疼痛行動観察評価による検討—  
山田 良 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター
- O10-3** 認知症高齢者に対する短縮版疼痛行動観察評価の検証  
中田 健太 池田リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- O10-4** 腱板断裂症例の Fremantle Shoulder Awareness Questionnaire と疼痛・機能の関連  
牧野 光一郎 医療法人整肢会 副島整形外科病院
- O10-5** 脊椎椎体骨折後の歩行様式選択における、ブリッジ評価の有用性  
平井 友和 独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 中央リハビリテーション部
- O10-6** 整形外科通院高齢患者の慢性疼痛とフレイル、サルコペニア、骨粗鬆症の関連  
石井 瞬 道ノ尾みやた整形外科 リハビリテーション科
- O10-7** 地域在住高齢者における疼痛タイプ(侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛)と身体的フレイルの関連：糸島フレイル研究  
齊藤 貴文 麻生リハビリテーション大学校 理学療法学科



**O10-8 医療・介護施設就労者の腰痛とプレゼンティーズムの関係性**

加藤 翔 尼崎だいもつ病院 リハ技術部

**一般演題11 [ 病態2 ]**

6月12日(日) 13:40~14:20 第3会場(2F B203)

座長：服部 貴文(前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部)

**O11-1 人工膝関節全置換術前患者におけるサルコペニアと疼痛感受性の関連**

木村 尚道 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

**O11-2 高齢患者2症例における栄養状態を含めた疼痛症状の経時的変化**

福本 優衣 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

**O11-3 末期変形性膝関節症患者の滑膜炎と  
Bone marrow lesion に影響する要因の検討**

田中 努 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

**O11-4 肩鏡視下腱板修復術後6ヶ月時の疼痛に関連する要因の検討**

隅田 涼平 医療法人同信会 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

**O11-5 肩関節周囲炎における疼痛感作の特性および疼痛症状との関係**

服部 貴文 前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部

**O11-6 慢性筋骨格系疼痛の病態分類と出現様式の特徴  
— クラスタ分析を用いて —**

重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部

**O11-7 脳卒中後 CRPS の発症予測モデルの検討**

桂 祐一 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

**O11-8 大腿切断後に生じた幻肢痛と疼痛感作の経時的変化  
— ケースレポートによる検討 —**

上銘 峻太 兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部

**一般演題12 [ 治療5・その他 ]**

6月12日(日) 13:40~14:20 第4会場(2F B202)

座長：壬生 彰(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部)

**O12-1 人工膝関節全置換術後患者の階段昇降時の恐怖回避思考軽減を目的とした  
Virtual reality アプローチ**

今井 亮太 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 理学療法学専攻

- O12-2** バーチャルリアリティを併用した運動イメージの鎮痛効果の検証  
丹羽 祐斗 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
- O12-3** 他動運動による EIH 効果の検証  
丹羽 祐斗 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
- O12-4** 上肢エルゴメーターを用いた有酸素運動が人工膝関節全置換術後早期の痛みや身体機能におよぼす影響  
坂本 有希倫 日本赤十字社長崎原爆病院 リハビリテーション科
- O12-5** 高強度インターバルトレーニングにおける気分変化と鎮痛効果の関係性  
堂北 絢郁 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
- O12-6** 監視下運動と非監視下運動による運動誘発性鎮痛効果の比較  
浜内 孝一 名古屋学院大学 リハビリテーション学部
- O12-7** 慢性疼痛患者における運動習慣の有無は、疼痛に影響する要因が異なる  
佐久間 俊輔 寺田痛みのクリニック
- O12-8** 一症例の経過から見えた慢性疼痛診療ネットワーク構築への一考察  
— 地方都市における診療ネットワークの必要性 —  
中尾 聡志 愛ほっと訪問看護ステーション愛なん

**一般演題 13** [ 評価 5 ]

6月12日(日) 14:30～15:10 第1会場(3F B302)

座長：重藤 隼人(京都橘大学 健康科学部)

- O13-1** 末期変形性膝関節症患者の動作時痛と安静時痛に影響する要因の検討  
田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
- O13-2** 人工膝関節全置換術1ヵ月後における滑膜炎と疼痛の関連性  
～超音波の Power doppler 機能を用いた滑膜炎の定量化～  
田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
- O13-3** 人工膝関節全置換術1年後における日常生活困難度が高い患者の特徴に関する検討  
近藤 康隆 日本赤十字社長崎原爆病院
- O13-4** 感覚運動の不一致によって生じる患肢の重だるさが外傷性骨折後の痛みを遷延化させる  
松田 総一郎 畿央大学大学院 健康科学研究科

**O13-5** 母指 CM 関節症患者に対するタッピング動作による母指運動の過剰性評価  
—splint 療法適応判断のための予備的研究—

栗木 康介 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

**O13-6** 認知症患者のワーキングメモリと痛み感覚の関係性

水野 千秋 社会医療法人 駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院

**O13-7** 異なる条件刺激種による conditioned pain modulation の効果検証

加藤 翔 尼崎だいもつ病院 リハ技術部

**一般演題 14** [ 治療 6 ]

6月12日(日) 14:30~15:10 第2会場(3F B301)

座長: 佐藤 剛介(奈良県総合医療センター リハビリテーション部)

**O14-1** がんサバイバーに対する運動が疼痛におよぼす効果  
—メタアナリシスによる検討—

大賀 智史 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

**O14-2** 術前から強いがん性疼痛を有する盲腸癌患者に対する  
周術期リハビリテーションの経験

成瀬 宏司 医療法人医仁会 さくら総合病院

**O14-3** 肛門部痛に対する理学療法の試み

永井 豊美 京都通信病院

**O14-4** 長期間仕事に支障をきたした慢性頸部痛患者に対する理学療法の経験

河合 洋輔 寺田痛みのクリニック

**O14-5** ペインクリニックにおける理学療法評価に基づく運動療法が奏効した  
慢性頸部痛症例

竹市 真 名古屋栄ペインクリニック リハビリテーション科

**O14-6** 経皮的電気神経刺激補助下での歩行運動の効果  
—中枢性神経障害性疼痛が併存する慢性膝痛患者2例での検討—

中楚 友一朗 愛知医科大学 運動療育センター

**O14-7** 帯状疱疹後の三叉神経痛が慢性化した症例に対する  
経皮的電気神経刺激の鎮痛効果  
—シングルケース BABA デザインによる検討—

井川 祐樹 医療法人友誼会 西大和リハビリテーション病院

**一般演題15** [ 基礎2・病態3 ]

6月12日(日) 14:30~15:10 第3会場(2F B203)

座長：後藤 響(社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部)

**O15-1** 継続的な歩行運動の実践は膝関節内における抗炎症性サイトカインの発現を増加させることでOA発症後の痛みを軽度にする

宮原 祥汰 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

**O15-2** 低強度の筋収縮運動が末期変形性膝関節症の疼痛を軽減する機序の検討—動物モデルを用いた実験的研究—

本川 智子 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

**O15-3** 不動によって発生・進行した筋痛, 筋萎縮, 筋性拘縮に対する筋収縮運動の効果

前田 俊輔 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

**O15-4** 末梢動脈疾患患者における下肢血管内治療前の間歇性跛行症状と抑うつ症状の併存は血管内治療後の身体活動に関連する

瀧野 皓哉 岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室

**O15-5** 慢性閉塞性肺疾患患者における運動恐怖感の有無が身体・認知・情動的側面に与える影響

田中 貴子 長崎大学 生命医科学域保健学系

**O15-6** 関節リウマチ患者の自己効力感に関する研究—患者の生活全般に対する自己効力感と生活の質の関連に影響を与える因子の検討—

島原 範芳 道後温泉病院 リウマチセンターリハビリテーション科

**O15-7** 地域在住関節リウマチ患者のロコモティブシンドロームに関する研究—新臨床判断値による解析—

中野 正規 道後温泉病院 リウマチセンター リハビリテーション科

**一般演題16** [ 治療7 ]

6月12日(日) 14:30~15:10 第4会場(2F B202)

座長：会田 記章(順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室)

**O16-1** 慢性疼痛患者の痛みに対するストレッチの有効性—定量的感覚検査を用いた圧痛閾値・下行性疼痛抑制機能の測定—

鈴木 阜平 仙台ペインクリニック リハビリテーション科

**O16-2** 腰椎椎間板ヘルニア併存のくも膜下出血患者に対しMotor Control Trainingを行い疼痛が軽減した一症例

福本 匠吾 JCHO 星ヶ丘医療センター

**O16-3** 慢性緊張型頭痛患者の疼痛管理に後頭神経群の神経絞扼を考慮した理学療法が奏効した症例

伊澤 伸太郎 医療法人社団 三友会 サカイ脳神経外科

**O16-4** 外傷性頸髄損傷への作業療法  
—急性期から心理的要因を考慮した介入—

森 陽生 独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター

**O16-5** 整形外科通院高齢患者の慢性疼痛の有無とフレイルの改善との関連

石井 瞬 道ノ尾みやた整形外科 リハビリテーション科

**O16-6** オンライン環境での共感による鎮痛効果の検討

城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部

**O16-7** 疼痛症状と疼痛感作を改善する運動アドヒアランスの検討

常盤 雄地 尼崎だいもつ病院 リハ技術部

# 基 調 講 演

## ミクロ・マクロの両視点からみた 痛みの史的考察

座長：松原 貴子（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

講師：田口 敏彦（山口労災病院 病院長）

## 基調講演

## ミクロ・マクロの両視点からみた痛みの史的考察

田口 敏彦

山口労災病院 病院長

痛みは、長い歴史の間に様々な解釈がされてきた。1979年に国際疼痛学会が、その定義を示して以来、痛みに対する解釈の共通認識が得られるようになり、2020年にはその定義を再評価し、「実際の組織損傷もしくは潜在的な組織損傷に付随する、あるいは、それに似た不快な感覚的および感情的な体験」と改定した。この定義では痛みは感覚的体験でもあり感情的体験でもあるとし、定義の付記として個人的体験でもあることも加えている。

痛みが感覚でもあり感情でもあるということについては、末梢からそれぞれの中樞である大脳皮質感覚野や前頭皮質に至る神経経路の解剖が示され、その経路で起こる様々なミクロ的な現象も解明されつつある。さらに個人的体験がもたらす個人差については、遺伝的要因と環境要因があるとされている。遺伝的要因については、近年のゲノムワイド関連解析などゲノム研究の目覚ましい進歩で、痛みに関わる遺伝子多型が発見され痛みの個体差が説明されつつある。環境要因については、文化的要因、社会的要因、習慣的要因などがあげられ、痛みを分析するには医学的な臨床研究や基礎研究だけでなく、社会学のような社会の中でもなされなければならないことが強調されるようになった。

痛みの病態や機能を考える上で、ミクロの生物学的視点とマクロの社会的な視点の両法の視点に立ち、痛みが単に神経インパルスの伝導という医学的な問題だけではなく、文化的、生物学的な深くて個人的なレベルでの体験でもあることを理解しなければならない。



## 略 歴

### 【学 歴】

- 1980年3月 山口大学医学部医学科 卒業  
1984年3月 山口大学大学院医学系研究科 博士課程 修了

### 【職 歴】

- 1985年1月 トロント大学(カナダ) 医学部  
ウエズリー病院 整形外科 クリニカル・リサーチフェロー  
1986年1月 山口大学医学部 助手(整形外科)  
1986年5月 愛媛労災病院 整形外科 医長  
1987年7月 山口大学医学部 助手(整形外科)  
1991年4月 山口県立中央病院 整形外科 部長  
1992年10月 パリ大学(フランス) 医学部  
ピチエ病院 整形外科フェロー  
1993年4月 山口県立中央病院 理学診療科 部長兼任  
1995年9月 山口大学医学部附属病院 講師(整形外科)  
2002年4月 山口大学医学部 助教授(人体機能統御学講座, 整形外科)  
2004年8月 山口大学医学部 教授(人体機能統御学講座, 整形外科)  
2006年4月 山口大学大学院 教授(改組により医学系研究科 整形外科学)  
2010年10月 山口大学医学部附属病院 副病院長  
2013年4月 山口大学医学部附属病院 病院長  
2014年4月 山口大学 副学長  
2018年4月 山口労災病院 病院長  
山口大学 名誉教授

現在に至る



# 一般演題セッション

## 01-1 Neglect-like symptoms は慢性腰痛患者の特異的運動制御に関連する —ランダムフォレスト後の一般化線形モデル分析—

○重藤 隼人<sup>1)2)</sup>, 西 祐樹<sup>2)</sup>, 大住 倫弘<sup>2)</sup>, 森岡 周<sup>2)</sup>

1) 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科

2) 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

【目的】慢性腰痛患者の特異的な運動制御パターンとして、体前屈時に脊柱起立筋が適切に弛緩できない現象(屈曲弛緩不全)が知られ、能力障害との関連が報告されている(Shigetoh, 2020)。しかし、疼痛関連因子との関連は未だ明らかにされていない。本研究の目的は慢性腰痛患者の運動制御と疼痛関連因子の関係を明らかにすることである。

【方法】慢性腰痛患者24名を対象に疼痛強度(NRS疼痛, SFMPQ-2), 身体知覚異常(FreBAQ), 心理要因(NRS恐怖, PCS-4, HADS, TSK-11)を評価した。表面筋電図を脊柱起立筋に貼付し、立位体前屈課題における各相の筋活動量を求め、屈曲弛緩比率(FRR)を算出した。統計解析はランダムフォレストを用いFRRに対する変数重要度を算出した。そして、変数重要度が高い変数を説明変数, FRRを応答変数としたベイズ推定に基づく一般化線形モデル分析(GLM)を実施し, FRR低下に関連する変数を抽出した。

【結果】FRRに対する変数重要度が高い上位の変数としてNRS恐怖, Neglect-like symptoms, 持続痛, NRS疼痛, TSK-11が抽出された。これらの変数を用いたGLMの結果, FRR低下にはNeglect-like symptomsが関連するモデルが示された。

【結論】慢性腰痛患者の特異的な運動制御である屈曲弛緩不全の病態機序に, Neglect-like symptomsが最も関連することが明らかになった。ゆえに, 慢性腰痛患者の運動制御不全の改善には, 身体知覚異常を考慮した臨床介入の必要性が示唆された。

キーワード: 慢性腰痛, 運動制御, Neglect-like symptoms

## 01-2 変形性膝関節症における運動誘発性疼痛に関与する要因の検討

○服部 貴文<sup>1)2)</sup>, 大賀 智史<sup>3)</sup>, 下 和弘<sup>3)</sup>, 丹羽 祐斗<sup>2)</sup>, 常盤 雄地<sup>2)</sup>, 山口 修平<sup>2)</sup>, 松原 貴子<sup>2)3)</sup>

1) 前原整形外科リハビリテーションクリニック  
リハビリテーション部

2) 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

3) 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

【緒言】変形性膝関節症(KOA)の運動誘発性疼痛は、生活の質(QOL)を低下させ運動継続を阻害する一要因である。近年, KOAの諸症状には関節変形に伴う組織変化や疼痛感作のような神経系の機能変化が関与する可能性が示されているが, これらが運動誘発性疼痛にどのように影響するのかは明らかではない。そこで本研究では, KOAの運動誘発性疼痛に関与する関節構造および神経機能について検討した。

【方法】対象はKOA患者70名とした。評価は年齢, 性別, BMI, 運動時痛の時間的加重(TS-MP), KOOS-function/QOL(KOOS), KL分類, MRIによる滑膜炎・骨髄病変(WORMS-synovitis/BMLs), 膝・前腕の圧痛閾値(PPT)と圧痛の時間的加重(TS-PP), 神経障害性疼痛(PDQ), 中枢感作関連症状(CSI)とした。TS-MPは6分間歩行前・後の歩行時痛をVRS(0-100)で評価し, その差を測定値とした。解析はTS-MPとKOOSの相関を調べ, さらにTS-MPを従属変数, その他の項目を独立変数とし, 交絡因子を調整した階層的重回帰分析を行った。

【結果】TS-MPはKOOSと正の相関を認めた。また, TS-MPに影響する因子としてWORMS-synovitisと膝のTS-PPが抽出された。

【考察】今回の結果より, KOAの運動誘発性疼痛は機能障害やQOL低下に関与していた。また, TS-MPが高いものほど滑膜炎とTS-PP亢進を認めたことから, 運動誘発性疼痛には関節組織の炎症や疼痛感作が強く関与することが示唆された。

キーワード: 変形性膝関節症, 運動誘発性疼痛, 疼痛感作

編集委員 片岡英樹, 坂野裕洋, 今井亮太, 壬生 彰

## 編集後記

このたび、「Pain Rehabilitation」第12巻2号をお届けします。この第12巻2号は、第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集となっております。

本学術大会では、「疼痛医療の未来を拓く～Interprofessional workのさらなる展開～」をテーマに掲げ、特別講演、シンポジウム、共催シンポジウム、共催セミナー、教育講演が企画されております。また、一般演題は103演題ものの口述発表が予定されております。本学術大会は、昨今の新型コロナウイルス感染症対策のため現地会場とオンラインのハイブリッド開催となります。そこで、オンデマンド配信によるミニレクチャーやe-learningコンテンツなど多数の講演を準備致しました。本学術大会初のハイブリッド開催での学術大会に多数の皆様にご参加いただき、有意義な学術大会となりますことを期待しております。

最後となりますが、本学術大会の運営にご尽力いただきました運営委員ならびに理事・代議員の先生方、また、本学術大会の趣意にご賛同いただき多大なるご支援を賜りました後援企業の方々に深謝致します。

(片岡 英樹)

## Pain Rehabilitation 第12巻2号

令和4年(2022年)5月6日 発行

編集・発行：一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会

事務局：日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科  
理学療法学専攻内  
〒470-0012 愛知県半田市東生見町26-2  
TEL：0569-20-0118(内線2527)

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>